

科学読み物シンポジウム

学校の授業以外で、科学に接することができるもっとも手軽な方法は、科学の本を読むことです。世界中の科学を追究してきた人のわくわくするような体験・生き方を学び、知識を広げることができます。理解力や表現力を高めることもでき、テレビやインターネットの時代だからこそ、能動的に読むことには大切な役割があります。ところが、よい本を作ること、本を読み手に伝えることが厳しい時代です。

今年は国民読書年です。今回のシンポジウムでは、前3回に引き続き、科学の本の現状はどうなっているのか？よい本を子どもや市民に伝え、科学の本を読む文化を日本に定着させるためにはどんな工夫が必要かを皆さんと探り、科学の読み物を読む動きをさらに推し進める内容で開催します。

また、ぜひ読んでほしい科学の本のリストの紹介や、本の展示/販売も行います。

理科読をはじめよう！

■日時■2010年3月20日(土) 13:00～17:00(開場12:30)

■場所■東京大学教養学部 (井の頭線駒場東大前駅下車) 13号館 1313教室

■主催■東京大学教養学部附属教養教育開発機構 NPO法人ガリレオ工房

■協力■科学読物研究会 ファラデーの本棚 SLLS(学びの場としての学校図書館)

■協賛■あかね書房 アリス館 岩崎書店 岩波書店 大月書店 偕成社 仮説社 啓林館
講談社 小峰書店 さ・え・ら書房 実教出版 小学館 誠文堂新光社 玉川大学出版
筑摩書房 地人書館 ナリカ 福音館書店 星の環会 ポプラ社 連合出版(予定)

■後援■(独)科学技術振興機構 日本物理学会 日本化学会 (予定)

◆◆◆◆◆■参加費 無料 受付は当日350人の定員まで◆◆◆◆◆

第1部

開会挨拶 「理科読をはじめよう」 滝川洋二 (東京大学特任教授)

記念講演 「科学を伝える」 池内 了 (総合研究大学院大学教授)

休憩 (14:00～14:30)

東京大学生協書籍部の科学読み物特設コーナーなどご利用ください。(当日営業時間:11～15時)

第2部

「学校図書館における探究学習——理科学習への展開可能性」 河西由美子 (玉川大学准教授)

「理科ハウスでの科学の本」 森裕美子 (私立科学館館長)

「科学の本の魅力をブックトークで」 北畑博子 (長岡京市教育委員・ブックトーク専門家)

「科学の本の読み聞かせ くうき」 土井美香子 (科学の本の読み聞かせの会ほんとはんと)

意見交換会

閉会後別会場で懇親会があります

「科学読み物特設コーナー」の設置

場所: 東大駒場生協書籍部

日時: 3月15～25日 11～17時 日・祭日休

(3月20日は11～15時)

会場販売

『理科読をはじめよう
～子どものふしぎ心を育てる12のカギ』
滝川洋二編 岩波書店 3月19日刊

理科読をはじめよう——ミニブックフェア

紀伊國屋新宿本店8階特設会場 3月15日～4月15日

紀伊國屋新宿南店2階児童書売場 3月15日～

会期中、「科学の本のおはなし会」読み聞かせや

小実験などが予定されています。各店HPをご覧ください。

連絡先

galileokouboudesu1986@yahoo.co.jp

(科学読物シンポジウム事務局)

担当: 網倉聖子 03-5465-8816(FAX: 滝川)

